

職層研修「係長研修」(第2回)

【日時】	令和3年11月2日(火)、10日(水)、18日(木) 9:00~17:00
【会場】	特別区職員研修所
【受講者数】	79名
【講師】	社会福祉法人恩賜財団済生会 理事長 炭谷 茂 氏 公益財団法人東京都人権啓発センター 竹内 良 氏 特別区人事・厚生事務組合 職員 株式会社ヒューマンエナジー 相場 聖 氏、佐伯 学 氏、下垣内 智 氏
【研修内容】	<p><目的></p> <p>係長の役割として必要な部下の育成・指導や勤怠管理、メンタルヘルス管理の知識を習得し、組織管理能力の向上を図ることにより、組織の活性化を図る。また、人権・同和問題の現状、行政をめぐる最近の訴訟事例、えせ同和行為対応及び特別区制度について、係の指導者として身につけておくべき知識を習得する。</p> <p><内容></p> <p>(1日目)</p> <p>① 人権・同和問題の現状 人権問題や同和問題についての正しい知識と最新状況を知る。</p> <p>② 行政をめぐる最近の訴訟事例 行政をめぐる最近の訴訟事例について学び、日々の業務の中で注意すべきことを学ぶ。</p> <p>③ えせ同和行為対応 えせ同和行為に関する知識を習得し、適切な対応方法を学ぶ。</p> <p>④ 特別区制度 特別区制度の特徴について理解を深める。</p> <p>(2・3日目)</p> <p>① 係長の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・係長としての役割を理解した上で、係長職に必要となる部下のマネジメントの基本を学ぶ。 ・職員のメンタルヘルス管理のポイントを理解する。 ・職場でのアクションプランを作成し、3日目の研修までに実践及び評価を行う。 ・部下とのコミュニケーションの重要性を学び、部下のモチベーションと能力を引き出すためのコーチングスキルを習得する。

<p>【受講生の声】</p>	<p>【人権・同和問題の現状】</p> <ul style="list-style-type: none">・長い間、同和問題に取り組んできた講師の話聞き、自分の身近では感じる事がない同和問題がまだ現実としてあることを知ることができました。また、社会全体で自立などを支えるソーシャルインクルージョンの仕組みが大切だと気付きました。 <p>【行政をめぐる最近の訴訟事例】</p> <ul style="list-style-type: none">・訴訟は防ぎようがなく、相手方がおこしたいと思ったら訴訟されてしまうという言葉が印象的でした。訴訟になりそうだと感じた場合に（多分、いつものクレーム対応でも大事だと思いますが）、記録をしっかりと取る等で対抗する事ができるのだと知りました。 <p>【えせ同和行為対応】</p> <ul style="list-style-type: none">・えせ同和問題は、「同和」という差別を利用した不当欲求であり、差別という言葉に怯えることなく、不当欲求であるかないかを見極めて対応する事が大事だと思います。講師の実体験を聞く事ができて、同和問題を身近に考えることができてよかったです。 <p>【特別区制度】</p> <ul style="list-style-type: none">・都区財調の調整率の変遷経過（現状の55.1%になるまで）を学びました。東京都と特別区の関係は、全国の方から見れば特別に見えるということを知り、特別区を皆に理解してもらえるよう正確な説明に努めたいと思います。 <p>【係長の役割】</p> <ul style="list-style-type: none">・MBQ（マネジメント・バイ・クエスチョン）の方法を学びました。コーチングとMBQを組み合わせながら部下を育成・指導していくことができれば、組織もうまく回るようになり、その結果として自分自身の仕事もうまく回るようになるため、明日から挑戦してみたいと思います。
----------------	--